

25日調査メモ（無加川上流部その1）

調査者

北見工業大学 河川防災システム研究室	渡邊康玄
河川水文研究室	早川博
地盤工学、凍土・土質研究室	川口貴之
	川尻峻三
	渡邊達也
地震防災研究室	宮森保紀

調査位置

1. 金華橋橋台裏の洗掘（8月21日、25日）
2. 水郷大橋の土砂と流木
3. 塩別川市道橋梁上流の浸食と護床工の破壊



1. 金華橋橋台裏の洗掘

国道 242 号金華橋仮設橋の右岸橋台裏が浸食を受けていた。写真-1 は、8 月 21 日に仮橋を上流右岸側から撮影したものである。写真-2 は、同時刻に右岸橋台下流側の浸食状況を上から撮影したものであり、写真-3 は、復旧作業中の 8 月 25 日に金華橋下流右岸から金華橋右岸橋台部を撮影したものである。留辺蘂地区への水道の導水管が浮いている状況となっている。また、浸食の断面形状は上に向かって広がる三角形であり、上流から下流まで通して浸食が発生している。



写真-1



写真-2



写真-3



写真-4

写真-4 は、復旧中の橋台前面の状況である。橋台前面が洗掘を受けており、復旧作業は橋台下部に 3 枚の矢板の追加と前面の河床に袋型根固の敷設である。

写真-5 は、8 月 25 日に金華橋上流右岸から橋脚に集積している流木の状況である。この流木は横断方向に幅を持っており流水障害が生じていたものと推察される。この流木により右岸寄りに流れが偏向して右岸橋台部の浸食が生じたものと思われる。



写真-5

2. 水郷大橋の土砂と流木

温根湯温泉地区に位置する水郷大橋には、きわめて大量の流木が集積していた。写真-6 は上流左岸から、写真-7 は橋上から 8 月 21 日に撮影したものである。撮影時点においてこの流木の集積の影響と思われる流れの堰上げが生じていた、写真-8 は、8 月 25 日に水郷橋左岸直下流から撮影したものであるが、きわめて長い流木が多数集積していることがわかる。



写真-6



写真-7



写真-8

3. 塩別川市道橋梁上流の浸食と護床工の破壊

塩別川市道橋梁上流において、左岸における河岸浸食と護床工の破壊が認められた。写真-9 は、上流右岸側から撮影したものである。写真-10 は、浸食部を撮影したものである。河岸浸食は、護岸の裏の土砂が流出しており、周囲の痕跡から判断すると、氾濫流が河道に流れ込む際、護岸背面から浸食されたものと推察される。



写真-9



写真-10

護床工はかまぼこ型に盛り上がっている。写真-11 は左岸の護岸と橋梁との接合部を撮影したものである。護岸全体が斜め右側にずり落ちているようにも見えるが詳細は不明である。



写真-11